

第8回 ピッチイベントテーマ

テーマ1：空洞調査に係る技術

【ニーズの概要】

現状、路面下の空洞調査は、狭い幅員の道路や街渠近くまで調査するにはかなり手間がかかり、検知精度も良いとは言えない。このような箇所ですピーディーかつ、精度良く空洞を検知することができる技術

【求める技術】

- ・狭い幅員でも走行可能で、街渠の近くまで路面下の空洞検出ができる技術
- ・側線だけでなく、ある程度幅をもって面的に探査することで空洞検出率上がる技術
- ・空洞原因の推定の、し易さにつながる技術

等

【求める条件】

- ・街渠近くでも調査可能なこと
- ・低コスト

テーマ2：街路樹の点検に係る技術

【ニーズの概要】

- ・樹木の空洞を探す技術

【求める技術】

- ・樹木の空洞を効率的かつ簡易に検知することが出来る技術

等

【求める条件】

- ・車両、ドローン等移動しながら空洞を検知出来ること。
- ・樹木の位置が特定できること。

- ※ 各テーマに記載している【求める技術】【求める条件】は、令和4年10月13日に開催した「第10回フォーラム」の討議結果を踏まえたものです。
- ※ ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要となる諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

テーマ3: 近接困難な構造物の点検に係る技術

【ニーズの概要】

砂防えん堤や電波状況が悪くドローンなどによる構造物点検が困難な箇所や堆砂状況の確認及び以下のような近接困難な箇所にある構造物の点検において近接目視と同等の診断が可能な技術

- ・河川における護岸裏や垂直護岸の堤外側
- ・樹木繁茂箇所
- ・密集市街地の都市部で私有地への立ち入り困難な場所

【求める技術】

- ・衛星画像からの差分解析技術
 - ・近接困難な構造物にドローン等で接近する際に用いる自動操縦用マーキング設置方法
- 等

【求める条件】

- ・差分解析技術においては砂防施設の堆砂量などを把握できる事
- ・近接困難な構造物に対して目視に相当する画像を得られる事

テーマ4: 路面性状調査の画像解析に係る技術

【ニーズの概要】

路面性状調査等で取得した画像から、区画線の劣化状況を定量的に判定する技術

【求める技術】

- ・画像データからAI技術の活用等による客観的に区画線等の健全度評価ができる技術
- 等

【求める条件】

- ・蓄積した画像データを区画線等の健全度評価に活用したい
- ・評価者によるバラツキを排除するため、客観的な評価を実施したい(定量的数値、AI活用など)

テーマ5: 橋梁点検に係る技術

【ニーズの概要】

精度、費用が橋梁点検車による点検と同程度で、通行規制を軽減して点検を行える技術

【求める技術】

- ・橋梁点検の品質を落とさず点検日数を削減できる技術
- 等

【求める条件】

- ・点検ロボットカメラやドローン機器の採用
- ・機器で得られた画像に対する診断技術(AI)の採用
- ・通行止め日数や点検費用の削減

※ 各テーマに記載している【求める技術】【求める条件】は、令和4年10月13日に開催した「第10回フォーラム」の討議結果を踏まえたものです。

※ ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適應する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要な諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。